

<プレスリリース>



2011年7月1日

PRESS RELEASE

追加試算

「全ての原発が停止する場合の影響について」を発表

2011.7.1

気候ネットワーク

7月1日、政府は、電気事業法に基づき、東京電力・東北電力管内で大口径需要家に、ピーク時電力使用量の昨夏比15%削減を求める電力使用制限令を発動した。

気候ネットワークはそのタイミングに合わせ、原子力が再稼働せず全て停止する場合の、電力供給、燃料コスト、CO₂に対する影響を分析したペーパーを発表した。これは既出の「3つの25」は達成可能だ」の追加試算として発表したものである。

ペーパーでは、原発が停止すると「電力が足りない」、「燃料代が膨大に上がり国民負担が増える」、「CO₂が増える」と言われることに対し、試算を行い、その影響が小さく抑えられることを示し、対策の方向性を提言している。

ペーパーは下記からダウンロードできる。

URL : <http://www.kiconet.org/research/archive/energyshift/report20110701.pdf>

【お問合せ先】

気候ネットワーク 東京事務所

〒102-0082 東京都千代田区一番町9-7 一番町村上ビル6F

TEL 03-3263-9210、FAX 03-3263-9463 E-Mail : tokyo@kiconet.org

URL : <http://www.kiconet.org/>